

平成25年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	健康増進課	記入者名	松浦	内線	873	
事務事業名	特定不妊治療費助成事業		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさはぐくむ健康・福祉のまちづくり						
	施策	健康づくり対策の充実						
	細施策	生涯を通じた健康づくりの充実						
根拠法令・条例、関連計画等	出水市特定不妊治療費助成事業実施要綱							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
	不妊治療費助成事業費			01	04	01	04	013

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

医療保険が適用されず高額な医療費がかかる特定不妊治療（体外受精及び顕微授精による不妊治療）を受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成し経済的・精神的負担の軽減を図ると共に、安心して産み育てられる環境を推進することで少子化対策に努める。

3 事務事業の概要

H24年度の事業概要	H25年度の事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
申請件数実16件(延21件) 助成金額1,942,790円 市助成額(1回10万円限度、通算5回) 県助成額(1回15万円限度、但し治療内容によっては7.5万。1年目は年3回、2年目以降は年2回を限度に通算5年間助成。夫婦の所得額合計が730万未満)	助成金額 3,000,000円	H25年度事業の継続	H26年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民のうち特定不妊治療を受けた夫婦	特定不妊治療を受けた夫婦に対して、治療費の一部を助成する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
不妊治療を行う夫婦の経済的・精神的な負担を軽減し、安心して産み育てることのできる環境をつくる。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	晩婚化・晩産化が増え、少子化が進行していく中、不妊治療に対して助成を行い、安心して子供を産み育てられる環境を推進することは非常に重要な施策である。制度の周知徹底を図るとともに、不妊特有の悩みに適切に対応すべく、相談体制の充実を図る必要がある。

1 指標の推移

区分	指標名	単位	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 特定不妊治療助成の延件数	件	21	30	30	30		
	②							
成果指標	① 出生数	人	6	10	10	10		
	②							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	制度の周知を積極的に行うことで、申請件数の増加につながる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	特定不妊治療を受ける夫婦の経済的負担が増え、そのことにより妊娠をあきらめざる得ない状況が発生する恐れがある。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	コスト削減の余地はない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか (市以外の取組含む)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
市と受益者との負担割合は妥当ですか (受益者負担がある場合に記入してください)		
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	治療費は個人によって差があるが、1回に60万を超える例もあり、県と市が補助しても高額な自己負担が発生している。県の助成額も考慮し現在の助成額を維持している。
その他	他の市町村では実施している事業ですか (県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	県内15市町で実施 (2か所は不育治療も含む) 不育症治療の助成については、今後の課題。また、平成25年度から県が開始した「離島地域不妊治療支援事業」に併せて、渡船料と宿泊費助成について要綱の改正等検討中。	

3 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成20年度の事業開始から、5年間で34人の子供が生まれている。子供を望む夫婦が、経済的理由により妊娠をあきらめることがないよう、事業の周知をはかりながら、精神的支援も含めて継続したい。

4 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とし、制度の周知徹底を図る。

5 今後の方向性、改善案等 (最終評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。